



くち おお どう 口 大 道



口大道路は、奥大道路に対しての入口と理解して良い、と地区の人は言う。谷は長く奥深くで、久保川は上流では仁井田又川と名を変えている。道路は固い岩盤を削り取って作られていて、地区の近くから1.5車線と削り取られた岩盤の窪みには、『蜜どう』がたくさん置かれ、谷川の底は低くせせらぎは清い。山は急峻で丘もあり、石積みで確保された畑には茶が整然と並んでいる。

しかしここも過疎の地区。「15年前はちょうど百人いた。今は54人」24世帯が暮らしている。御輿の担ぎ手不足など氏神様の行事も大変そうだ。

氏神様の社へ行ってみた。鳥居が2つある。一の鳥居は普通に見られる土中に柱を固定しているもので、二の鳥居は石の上に乗っ



二の鳥居



蜜どう(ミツバチの巣箱)

ている。黄幡神社と言い、龍の彫り物に唐破風、屋根は銅板葺きで、実に堂々たるもの。石段も長い。一の鳥居から二の鳥居までちょうど70段あった。

伊賀」という姓が何軒かある。ここには6人塚日光院雲海伝説の地として話が伝えられているが、その日光院は忍術を使ったという。溪谷が我が家の庭、日光院の忍術、「伊賀」という姓・・・忍者の里をイメージした。

平地ではないので心配するのは地震のこと。「南海地震はここで体験しましたか?」「あの石垣も体験したよ」すごいことだ。大地震を経ても変わらなく、昔のままの石垣だ。台風などで壊れたら修繕は自分たちで行う。聞けば皆さん石工ができるそう。

今年には暖かいので川辺の芭蕉もまだ緑、川には天然のアマガイモもいるだろう。新春にはウグイスの初音を聞きに、盛夏の頃には涼を求めての散策を。ここよりさらに上流に進むと、有名な龍王の滝があり、さらに奥には日本最古の複層林が見られる。奥に癒しが、屋に幸せ、億に希望の年でありますように。

町のうごき	10月31日		人口		前月比		出生 死亡 転入 転出				適正值(mg/L)		10月18日									
	男	女	計	世帯数	男	女	計	出生	死亡	転入	転出	リン酸	硝酸	アンモニウム	アニオン活性剤	化学的酸素消費量	測定値以下	0.039	測定値以下	0.500	3.897	
	9,166	10,248	19,414	8,801	-7	-9	-16	3	17	12	5	5.0	0.5	5.0	1.0	10.0	測定値以下	0.039	測定値以下	0.500	3.897	
								6	29	24	17											

調査：大正(吾川) 資料：四万十高校自然環境部

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)